

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	茨城県
取組市町村名 取組団体・企業名	小美玉市
取組の名称	高校生の食育教室
実施時期	12月3日（月）、12月5日（水）
取組内容	目的：進学や就職を機に外食や中食の機会が増えたり、朝食欠食割合が増える 20 代～30 代となる前に、食に関する正しい知識の普及・啓発をおこない自己管理能力の育成を図ります。 対象：高校 2 年生 5 クラス（192 名参加） 内容：事前学習として、学生に各自 2 日分（平日 1 日、休日 1 日）の食事記録を書き取ってもらい、管理栄養士による記録の確認・傾向の分析と事例の選定します。 講義（50分）自己紹介と授業の流れの確認 食事バランスガイドの説明と課題の提示（パワーポイント使用） ※課題は1日の食事 グループワーク（課題をバランスガイドに反映：色染め） 発表・講評 質疑応答 後日、食事記録による分析結果のフィードバックします。



②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	茨城県
取組市町村名 取組団体・企業名	ひたちなか市
取組の名称	こじはんクラブ
実施時期	8月
取組内容	“こじはん”とは、ひたちなか市の方言で畑や田んぼ仕事の間の軽食（おやつ）のことです。地域の食文化を伝承するために、小学生までの保護者を対象にこじはんの料理教室を開催しました。すり鉢で胡麻をする体験や鰹節を削る体験も行い、試食しました。 実施日：平成30年8月7日（火） メニュー：おこわおむすび・きなこボーロ・ジンジャーエール 講師：食生活改善推進員 参加者：12名



②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	茨城県
取組市町村名 取組団体・企業名	高萩市・高萩小学校
取組の名称	もったいない運動
実施時期	12月10日～14日の5日間
取組内容	◆普段の残食量を振り返り、残食を減らすための取組 給食委員会を中心に、全校で下記内容に取り組んだ。 ①昼の校内放送で残食を減らすよう呼びかけ、もったいない運動について説明 ②その日の残食量を学級ごとに計測 ③昇降口に全校の残食量と、一番残食が少なかった学級の残食量を掲示 ④翌日の昼の校内放送で、前日の残食量の様子と、今日の献立について栄養素の話を中心に説明 ※②～④を5日間繰り返す ⑤5日間の残食量を合計し、一番残食が少なかった学級を表彰する ⇒残食量について意識して生活できる児童が増え、片づけの際に「今日完食できたよ」と声をかけてくる児童が増えてきた。 ⇒食品ロスについて全校で考える機会となった。 ⇒担任が意識して食育に携わるようになった。 ⇒数値として結果が出るため、積極的に参加する児童が多かった。特に、これまでなかなか改善できなかった牛乳の残しが、ほとんどの学級で無くなった。



←残食が少なかった学級の児童へ配付したシール